

「夢・HOCKEY・in はなやま」

1 趣旨

トップアスリートの豊かな経験と高い技術に触れ、ホッケーを通して技術の向上・知識の向上を図るとともに、望ましい生活習慣を身に付ける。

2 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

3 事業の概要

(1) 期日 平成30年1月19日(金)～20日(土) [1泊2日]

(2) 参加者

- 7団体92名(内訳 大人46名・高校生9名・中学生20名・小学生17名)
- ・築館スポーツ少年団
 - ・一迫スポーツ少年団
 - ・築館中学校ホッケー部
 - ・栗原西中学校ホッケー部
 - ・築館高等学校ホッケー部
 - ・迫桜高等学校ホッケー部
 - ・宮城クラブ男女

4 企画・運営のポイント

- ・地元出身のオリンピック2大会出場の三橋亜記選手と日本代表で活躍している狩野真美選手(山梨学院大)の2名を招聘し実施した。

5 日程

		午前				午後			夜間			
1/19 (金)								受付	夕食	技術指導①	入浴 ・ 情報交換会	消灯
	1/20 (土)	起床	朝食	部屋点検	技術指導②	閉会行事	昼食	解散				

6 主な活動内容

参加者は、宮城県内のホッケー部に所属する小・中学生と高校生、社会人チームであった。講師に、地元出身のオリンピック(ロンドン・リオ出場)選手である『三橋亜記選手』と日本代表で活躍している山梨学院大学の『狩野真美選手』を招き、講話や技術指導を通して、ホッケーに関する自分の夢を持ち、その実現に向けて技術向上やチームワークを構築させようとする意識を高めることをねらいとして実施した。参加者は講師の説明や模範プレーを真剣に見聞きし、意欲的に技術習得に取り組んだ。基本的な動作を中心に技術指導をしていただいた。ゲーム的な要素を取り入れ、指導に工夫を凝らしていただき、和やかな雰囲気の中、子どもたちは楽しく活動することができた。

参加者のアンケートからは、「憧れの2人に徹底指導していただき、とてもうれしく楽しかった」「トップレベルの技にふれることができ嬉しかった。」教えられたことを生かし、素晴らしいプレイヤーになりたい等の感想を聞くことができた。指導者からは、「アスリートからの直接指導は選手の意識向上につながると共に、指導者としても指導の手法を学ぶことができとても勉強になった。」等の感想が得られた。



【1日目】「講師の三橋選手・狩野選手」



【1日目】「ドリブルでリレー」



【2日目】「ゴールキーパートレーニング」



【2日目】「参加者と記念写真」

7 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・オリンピック選手や代表選手とふれあう機会はとても貴重な体験ですので是非毎年あるといいですね。天候が良ければホッケー場で出来ればと思います。
- ・来年もよろしくお願ひします。子供達にとっても、大人にとっても良い機会となりました。ありがとうございました。
- ・参加者が増えるよう部員確保していきたいと思ひます。
- ・また、来年も行つてほしいです。子供達の良い交流の場になつたと思ひます。ありがとうございました。
- ・大変有意義にすごせました。ありがとうございます。

(3) 成果

- ・小中高と一同に会する機会があまりないので、とても良い機会になり子供達だけではなく親たちも交流する場面が見られた。
- ・トップアスリートの高い技術を体験したことで、技術を習得するきっかけとなつた。
- ・小学生、中学生、高校生で約70人、社会人の参加者もあり指導者を加へ100人近くがプレイホールで賑やかな教室となつた。小中学生たちは準備体操前からボールを触るなど待ちきれない様子がかがえ、小中学生たちの上達には目を見張るものがあつた。また、大人もチームに混ざりミニゲームを行い、世代を超えたホッケー交流も見られた。

(4) 課題

- ・開催時期の設定について、講師との兼ね合いもありこの時期がベストと考えるが、2日目に一迫や築館のコートで開催することも検討していきたい。

担当：企画指導専門職 山田 健一